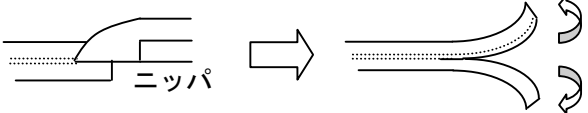
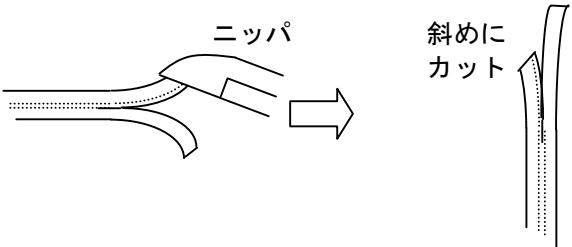
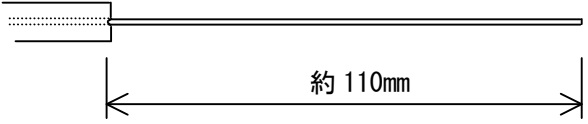
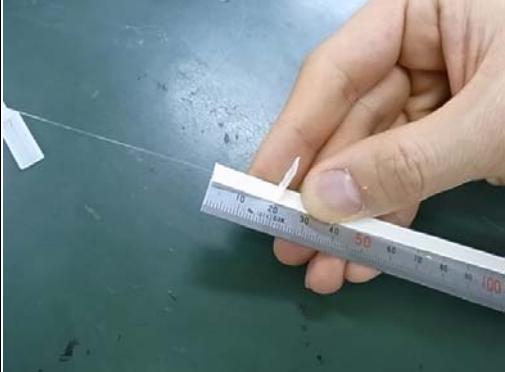
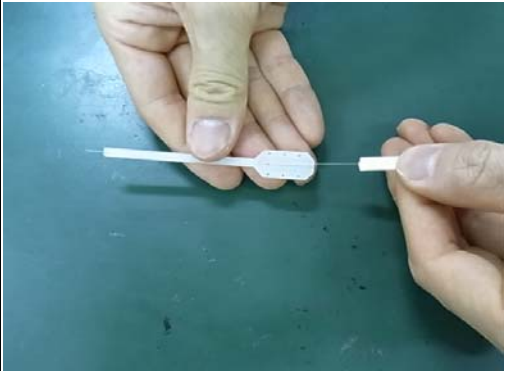
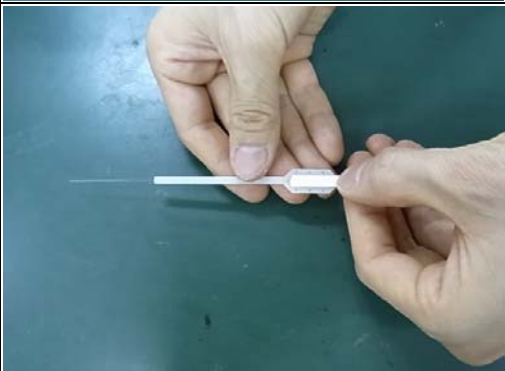
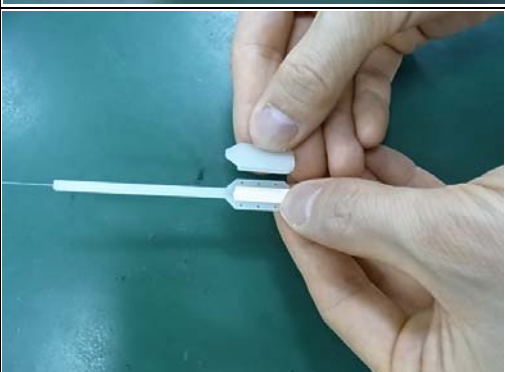


光ファイバテープアタッチメント取付け方法について

光ファイバテープをインドアケーブルのサイズに変換するアタッチメントの取付け方法について、ご説明いたします。

| 写真 | 方法 |
|----|---|
| 1 | <p>光ファイバテープ（以下テープ）の中心にあるファイバ素線（$\phi 0.25\text{mm}$）の傍を狙いニッパ等で切れ目を入れる。切れ目を使って手でさらに20～30mm程テープを縦に裂く。</p>  <p>※テープはファイバ素線が入っている中心部分の上下の被覆が薄くなっていますので、そこから裂けていきます。もしも中心付近が裂けていかない場合、先端を切りそろえて、再度切れ目を入れるところからやり直して下さい。</p> |
| 2 | <p>裂いた先端から少し下あたりファイバ素線が入っている側の半割れテープを中心側が山となるように斜めにカットする。</p>  |
| 3 | <p>斜めにカットした先端を注意しながら爪の先などでファイバ素線を引っ掛けて取り出す。</p> <p>※ファイバ素線が入っていないようでしたら、もう一方の半割れテープについて2より同じ作業を行なって下さい。</p> <p>※ファイバ素線の取扱いでケガなどしないように十分ご注意ください。</p> |
| 4 | <p>ファイバ素線の先端からさらに約110mmまで裂いていく。ファイバ素線を傷つけ無いように注意して裂いた被覆をテープ長手方向に対して直角に切断し除去する。</p>  |

| | 写真 | 方法 |
|---|---|--|
| 5 |  | <p>テープ際からアタッチメントに載せる部分の長さ 20mm の両面テープ台紙を剥がしておく。</p> |
| 6 |  | <p>テープの糊面を下向きにしてアタッチメントの溝に沿わせて、ファイバ素線をアタッチメントの凹みの際まで通す。 ※アタッチメントの先よりファイバ素線が約 45mm 出ます。</p> |
| 7 |  | <p>アタッチメントの凹みに両面テープ側を貼り合わせる。</p> |
| 8 |  | <p>アタッチメントのフタを被せる。 ※フタの位置を合わせ、全体を押してすべての突起がきちんとはまるようにします。 <アタッチメントの取付け完成></p> |